



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/杉原弘一郎 ●幹事/宮岡博就 ●会報/荒川圭三 ●提供/東京印刷

出席報告

会員数76名 出席数 46名 欠席数 25名
 出席免除会員 5名(荒川(雄)君、村上君、田中君、松本(正)君、新宮君)

出席率 67. 11%
 前回補正出席率 7/23 89.33% 7/16 86.67%

欠席者

足立君、藤尾君、秦野(一)君、細田君、池淵君、小谷君、小土井君、小西君、前畑君、松本(啓)君、永見君、長棟君、野津君、尾沢君、佐田山君、安井君、杉本君、田淵君、戸田君、高橋君、田村君、内田君、植田君、吉岡君、山中君

ビジター

岡本日出夫君(米子)

メーキャップ

西村君(6/16)、田淵君、永島君、野津君、宮本君、井上

(賢)君、永見君、岩崎(浩)君、藤尾君、高橋君、松本(啓)君(8/1米子)小土井君(8/5岡山南)、杉原君(8/18米子)

今週のお祝い

出席100%祝:8年赤木勇夫君、13年永島清孝君、木下博夫君

スマイルBOX 36,000円(累計271,000円)

理事就任:西村君、出席100%:赤木君、木下君、永島君、創立記念:木美君、井上(雄)君、柳谷君、秦野(愛)君、子供のチームが中学総体のバスケットボール県大会で優勝しました:梅田君、市民の皆様のお陰でリタイア者が多い中無事完走することが出来ました:上森(英)君、中海テレビ放送5CHにて「時の顔、話題の人」として取上げて頂きました:足立(博)君、8月3日朝3時に起きて大山登山をしてきました。道中ガスがかかりかぜが強くて大変でした:新納君

会長挨拶

阿南ロータリークラブより米子のロータリークラブとの姉妹提携の強力な申し出を受けて当地区5ロータリークラブで協議していましたがどこも手をあげられない中、当時の監事クラブであった米子東ロータリークラブが受けることとしました。昨日の理事会で承認いただきましたので、今後話を煮詰めてゆきたいと思えます。韓国との友好クラブの件ですが、佐田山ルート、杉原ルートで提携先を探しておりましたが、竹島問題が起こって難しくなっております。最後の切り札、第3の宮岡ルートを使って行く予定ですが先行きは不透明です。先日の日本海新聞に掲載された小林慶応大学教授のコラムにもありましたように竹島は日本の領土である事は明白だと私も思っています。主張すべきは主張しながら、友好クラブの問題は進めてゆきたいと思っています。当クラブの前回の例会の実質出席率が80%を越えました。今月のガバナー月信に5月の報告が掲載されていますが、第二グループでは米子東がトップ93.98%を達成しました。出席委員会に対して感謝しますとともに今後もよろしくお願いいたします。

幹事報告

1. 地区大会のご案内
 10月24日(金)~26日(日) 全員登録
2. 例会変更通知
 境港RC 8月12日(火) 休会
 ※ビジター受付なし
 9月より会場変更
 夢みなとタワー4F ル・ミストラル
 米子中央RC 8月14日(木) 休会
 10月30日(木) 夜間例会
 11月13日(木) 移動例会
 20日(木) 移動例会
 ※ビジター受付は10/30,11/13,11/20のみ
 倉吉RC 8月19日(火) 移動例会
 9月23日(火) 休会
 ※ビジター受付は8/19のみ
3. ロータリーレート変更通知
 8月 106円/ドル



MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

プログラム



「ガイナレ鳥取の活動」

(株)SC鳥取 代表取締役 塚野 真樹 氏
みなさんこんにちは。私は小さな頃から身体を動かして遊ぶことが大好きで、幸運なことにプロサッカー選手となることができ、得がたい経験をさせて頂きました。選手時代に強烈に印象に残っているのはオーストラリアキャンプでみた小さな町のスポーツクラブ。シンボルとして、おらが町のチームとして大人のサッカーチームが試合をし、それを町あげて応援し熱狂している。ああこういうスポーツの捉え方ってあるんだなと感心しましたが、更にそれが地域住民の自主運営によって成り立っていることを知ってビックリ！いつか自分の故郷にもこういうクラブが出来ればよいな、と夢見始めました。

今、目指せJリーグということで世間を騒がせておりますガイナレ鳥取ですが、大きくふたつの目標があります。ひとつは当然Jリーグに昇格することですが、もうひとつは西部地区にスタジアムを建設することです。なぜかと申しますと、より多くの皆さんの「身近な存在」となること、加えて「ガイナレがあって良かったな」と思って頂けるようになることが大目的であるからです。Jリーグ昇格が実現すれば、地域の起爆剤としての役割を果たす可能性は大きいと考えていますが、「身近で試合が見られない」ということでは、何のための「おらが町のチーム」か？ということになります。

「ロータリーの友」紹介

雑誌リーダー 芦立久君

1P:目に李東建RI会長からのメッセージ。子供の死亡率を減らすことで世界の子供たちの「夢をかたちに」しようと今年度のスローガンを掲げ、その実現の為には「新しい世代のロータリアン」が必要。10%の会員増強と各地区に新しいクラブを二つ誕生させるという目標。夢をかたちにしたいのなら新しい世代のロータリアンを確保し続けなければならない。

縦書:農学博士の河口宏太郎の「水と健康」
約4000年前の四大文明圏すべてが水道を造っている。ローマ帝国では下水までも造った。
日本でも1300年前の奈良時代に水道が存在した。この

このふたつの目標を実現するんだ！と力んでみたところで誰も信じませんよね。JFLに昇格した2001年当時は、どうせ1、2年で潰れてしまうだろうと良く言われました。支援して下さいました方々ですら、まあ頑張ってるからとりあえず・・・というのが本音だったろうと思います。ところが財政危機や降格危機を毎年乗り越え1年たち3年たち5年がたちました。それだけでも奇跡的だなぁとも言われましたが、「J」となるとまたまたそんなこと無理だよ、となります。ましてやスタジアム建設なんてこの不況下、市の財政難じゃとてもとても・・・。実際JFLに在籍しているとはいえ毎年下位に低迷していましたから当然の反応だと思います。だけれども、「無理だどうせできっこない」と考えてしまうことが、物事が出来ない最大の原因ではないでしょうか。ガイナレ鳥取では「自信」という言葉を大事にしていて、それは「自分を信じ信頼し勇気を持つこと」と解釈しています。サイズが小さい人口が少ない田舎だ、と言い訳探しをすればきりがなくらいですが、まずは自分の力を信じてみることで、この地域には可能性があるんだと考えること、これが本当に大事なことだと思います。ガイナレは前期を5位で折り返しました。周囲のムードが変わったことを感じています。本気モードが高まりつつあるように思います。「本気」になることが何より大切なのだと思います。課題は次から次へと現れてくるでしょう。Jリーグ昇格が実現したとしてもそれは変わらないはず。「自信」をもって現実に向き合うこと、これが何より地域を活気づけると思います。

ガイナレの現実是非常に厳しいです。きれいな話ばかりしていれば楽なのですが、財政的にもう後のない状態です。どこか大きな企業なりがドンと支えて下されば楽なのでしょうが、これは現実的ではありません。広く薄く多くの皆様よりご支援賜りたいと考えておりますし、それでこそそのガイナレ鳥取だとも思っております。皆で創って皆で楽しむ。大山は日本一の高さを有する山ではありませんが、地元の人が愛し語り自慢する存在です。いつの日かガイナレ鳥取がそのような存在になることを夢見しております。ご静聴ありがとうございました。

ころの水道は年に水を運ぶ用水路だったが、18世紀の終わりの産業革命以降20～30年後には川や湖が工場排水で汚れ、この飲めなくなった水を処理して飲めるようにしたのが19世紀の初めイギリスで近代的な水道が始まり。

日本の水道水ほど透明でクリアな水は無いようですが13年前のダイオキシン騒ぎの際に水道水を調べたらダイオキシンは検出されませんでした。いろいろな発がん物質が含まれていることも分かっています。すぐに弊害が起きるわけではないですが、健康を保つためにはバランスの良い食事を摂り、運動不足に気を付け、ストレスを無くし、生活にリズムをつけるように十分な睡眠を取るよう提案されています。

次回プログラム

8月20日 「安心と豊かさを創るということ

～聴覚障害があっても話したい！知りたい！～

NPO法人 ふくろう コミュニケーション支援センター

事務局長 石橋 大吾 氏

8月27日 「新年度運営方針」

新納哲雄君 荒川圭三君、赤木勇夫君

岩崎浩君、北沢薫君、種田進君